



平成 23 年 10 月 17 日

各 位

プリヴェ企業再生グループ株式会社
代表取締役(CEO) 松村 謙三
(JASDAQ・コード番号 4233)
問合せ先 取締役 辻 一馬
(TEL. 03-6230-0150)

平成 24 年 3 月期第 2 四半期累計期間の業績見通し（連結・個別）に関するお知らせ

当社の連結・個別業績につきまして、現時点における平成 24 年 3 月期第 2 四半期累計期間の見通しが、平成 23 年 3 月期第 2 四半期累計期間の実績値と比較して差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 平成 24 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間の連結業績見通し（平成 23 年 4 月 1 日から平成 23 年 9 月 30 日まで）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益
平成 23 年 3 月期第 2 四半期連結 累計期間実績 (A)	4,813	△629	△635	△806
平成 24 年 3 月期第 2 四半期連結 累計期間見通し (B)	4,160	△789	△754	△759
増 減 額 (B) - (A)	△652	△160	△119	47
増 減 率	—	—	—	—

当第 2 四半期連結累計期間売上高見通し 41 億 60 百万円と平成 23 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間実績 48 億 13 百万円との差異は、ロジスティックス事業において物流量の減少の影響などを受け売上高が減少したことを主な要因としております。

当第 2 四半期連結累計期間の利益面につきましては、営業利益が△ 7 億 89 百万円、経常利益が△ 7 億 54 百万円、四半期純利益が△ 7 億 59 百万円の見通しとなりました。平成 23 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間の営業利益△ 6 億 29 百万円、経常利益△ 6 億 35 百万円、四半期純利益△ 8 億 6 百万円との差異は、グループ全体でコスト削減等の経営効率化を図ったものの、売上高の減少や売上拡大のための販売促進費・広告宣伝費などを計上したことによる営業費用の増加を主な要因としております。

2. 平成 24 年 3 月期第 2 四半期累計期間の個別業績見通し（平成 23 年 4 月 1 日から平成 23 年 9 月 30 日まで）

（単位：百万円）

	営業収益	営業利益	経常利益	四半期純利益
平成 23 年 3 月期第 2 四半期累計 期間実績 (A)	△ 3	△ 807	△ 813	△ 926
平成 24 年 3 月期第 2 四半期累計 期間見通し (B)	29	△ 742	△ 718	△ 684
増 減 額 (B) - (A)	32	65	94	241
増 減 率	—	—	—	—

当第 2 四半期累計期間営業収益見通し 29 百万円と平成 23 年 3 月期第 2 四半期累計期間営業収益実績△ 3 百万円との差異は、上場株式等投資事業における商品有価証券の運用損益が改善したことを主な要因としております。

当第 2 四半期累計期間の利益面につきましては、営業利益が△ 7 億 42 百万円、経常利益が△ 7 億 18 百万円、四半期純利益が△ 6 億 84 百万円の見通しとなりました。平成 23 年 3 月期第 2 四半期累計期間の営業利益△ 8 億 7 百万円、経常利益△ 8 億 13 百万円、四半期純利益△ 9 億 26 百万円との差異は、コスト削減等の経営効率化を図ったこと、特別清算手続中の子会社に対する債権について追加弁済を受けたこと及び前年度における資産除去債務会計基準の適用を主な要因としております。

（注）当社グループはファンド事業及び上場株式等投資事業等に注力しており、業績は相場環境、投資環境の影響を受けざるを得ない状況にあります。この事業の特殊性に鑑み業績予想を行うことは困難であるため、業績予想は開示しておりません。業績予想の見通しに関する開示につきましては、当第 2 四半期連結累計期間・当連結会計年度の各々の決算日から 1 週間を目処に、前第 2 四半期連結累計期間・前連結会計年度の実績と比較して行います。

なお、上記の見通し数値につきましては、現時点での合理的な判断による見通し額であり、最終的な確定数値とは異なる可能性があります。

以 上